



GripNut™

おめでとうございます！あなたは世界で一番最高品質を誇るヘッドセットを購入されました。1976年以来、クリスキングは自転車愛好家に対して、最高そして信頼のおけるヘッドセットを供給し続けています。適切な取り付け方、メンテナンスにより、最高品質と性能を長い間味わう事が可能になります。

取り付け方

適切な取り付けを確実にするために、アダプター・キットをお勧めします。サイズは全てのヘッドセット・プレスツール、そしてセッティングツールにフィットするように色々取り揃えてあります。クリスキングのプレスアダプターは、ベアリングカップをヘッドチューブと一直線にさせ、ベアリングカップに均一にそして直接的に圧力をかけることにより、ダメージを防ぐ働きをします。クラウンレースアダプターは、クラウン・レース・セッティングツールの表面へのコニカルベアリングの接触を守る事によって、ベースプレートへのダメージを防ぎます。

ヘッドチューブの準備と、ベアリングカップの取り付け

- ①ヘッドセットの性能を最高潮までに上げるにはヘッドチューブの適切な用意が必要となります。ヘッドチューブのエンドが直角で、全てが平行になるように、そして穴が適切な寸法になるように（下の表を参照）、必要なだけリーミングとフェーシングをしてください。
- ②小さなヤスリ、または紙ヤスリを使用し、尖った部分やバリを注意深く取り除き、装着する時にカップから金属が削りとられないようにするため、ヘッドチューブ上下の内側にあるエッジを少しだけ面取りをしてください。
- ③ カuttingオイル、削りカスや、金属のかけらなどを取り除き綺麗にして下さい。
- ④適切なプレスフィットは締めしろが0.1mm (0.004") 以上あってはいけません。ヘッドチューブの穴に対する詳細は、下の表を参照にしてください。ヤスリをかけずに、カップから余計なゴミなどを取り除き、フィットするようにしてください。
- ⑤クリスキングヘッドセットカッププレスアダプターに付属したヘッドセットカップインスタレーションプレスを使用し、両方のベアリングカップを押し込んで下さい。カップがヘッドチューブに対して平行に装着されているか確認をして下さい。

フォークの準備と、ベースプレートの取り付け

- ①適切にフォークを準備することで、ヘッドセットの性能をベストな状態にさせます。クラウンレースシートの表面とステアチューブが直角で、全てが平行になるように、そして穴が適切な寸法になるように（下の表を参照）、必要なだけリーミングとフェーシングをしてください。
- ②Cuttingオイル、削りカスや、金属のかけらなどを取り除き綺麗にして下さい。適切なベースプレートのプレスフィットは締めしろが0.1mm (0.004") 以上あってはいけません。下の図にある、正確なクラウンレースシートサイズを参照して下さい。
- ③円錐部分を上にし、ベースプレートをステアチューブに差し込んで下さい。ベースプレートインスタレーションアダプターの斜め側とベースプレートをくっつけるためにクラウンレースセッティングツールを使用して下さい。
- ④ステアの長さを計る時、トップベアリングカップの上から11~14mmほど突き出る必要があります。

	Head tube bore	Crown seat OD
1"	30.1mm	26.5mm
1" BMX	32.7mm	26.5mm
1-1/8"	33.9mm	30.1mm
1-1/4"	36.9mm	33.1mm

クリスキンググリップナット™の組み立て

- ①ロックリングのスレッドと、アジャスティングリングの内側のスレッドが全体に焼き付け防止グリース、もしくは工業用潤滑油で注油されている事を確かめて下さい。溝の入ったコレットの細くなっている表面にもグリースを塗って下さい。
- ②アジャスティングリングの穴に、対応するスロットの中でコレットの上にキーを配置させ、溝の入ったコレットを装着させて下さい。
- ③アジャスティングリング、コレットアセンブリにロックリングを、コレットがアセンブリの中で少し浮くまでねじ入れて下さい。

最後の組み立て、そして調整

- ①グリップナットがステアに完全に装着したら（4-5回くらい回し、少なくともベアリングに接触する前に1/8インチの間隔をあけます）ロックリングをアジャスティングリングに、グリップナットアセンブリがまるであたかも引っ張られている感覚が感じ取られるまで締めて下さい。
- ②一旦この引っ張られる感覚を感じたら、全てのグリップナットアセンブリをベアリングに接触させるまで落として下さい。（必要ならば、ロックリングとアジャスティングリングの両方に、ヘッドセットレンチを使用して下さい。）
- ③ベアリングにあるプレロードを調整し、グリップナットロックリング、アジャスティングリングを130から150in/lbのトルクで締め終えて下さい。
- ④グリップナットのテストの仕方：2つのレンチを使用し、ゆるめる方向にグリップナットを回してみてください。本当は回す事ができないはずですが、もしすぐに回す事ができてしまった場合、グリップナット全体を1/4くらいゆるくなる方向へ回し、もう一度増し締めして下さい。

注意：新しいシールがある場合、50~100時間ほど走る事によって、ステムの回り方に縛りが出てくる事があります。不適切な装着による、縛り付けや、摩擦など、又はステムがちゃんとハマっていないと勘違いしないようにしてください。

メンテナンス

クリスキングのヘッドセットは最小のメンテナンスにより最高の寿命を提供できるようにデザインされています。時折の調整のほかに、ベアリングのクリーニングやグリーシングが必要となります。ライディングのコンディションはどのくらいヘッドセットに対して調整をしているかがキーとなってきます。濡れるようなコンディションでは6ヶ月毎に必要となり、乾いた状態では5年に一度必要となります。

ベアリングサービス

- ①クリスキング・シールド・ベアリングは、ゴムのシールドを抑えている取り外し可能なスナップリングが入っています。注意深く、小さなスクレードライバー、ピック、またはペナナイフを使い、スナップリングとの間にそれらの道具を差し込みスナップリングを取り外します。溶剤で洗浄し、ドライヤーで乾かし、防水グリースを塗り、もう一度組み立てなおして下さい。もしダメージが見つからなければ、シールドとスナップリングを再利用して下さい。
- ②もし新しいシールドとスナップリングが必要ならば、お近くの代理店、またはクリスキング本店にて購入可能になっています。

注意：シールドベアリングに関して、水というものは最大の敵になります。フレームにあるブリーザー、もしくは他の穴から水が入った時、ヘッドチューブへ水は渡り、最後にはヘッドセットのベアリングにも到達することがあります。高圧洗浄をするとき、もしくは雨の日のライディングや運搬、ライディングしている時に水の中にある程度沈む場合、水がベアリングに入る可能性は高くなります。ステンレススチールベアリングは腐食を防ぐ事がありますが、グリースが悪化する事があります。これらのようなシチュエーションを防ぐか、もしくは塗れてしまった場合はサービスを怠らないようにして下さい。

取り外しと、再取付け

- ①スタンダードカップリムーバールールを使用してヘッドチューブからカップをとり外して下さい。ベアリングに接触するのではなく、カップの内側にあるエッジに接触させながら取り外して下さい。
- ②フォークからベースプレートを外すために、1/4インチまたは3/8インチのドリフトパンチアルタネーティングストライクスを使用し、曲げたり、傷をつけたりしないように、フォーククラウンのどちらかのサイドに取りつける事をおすすめします。
- ③フォークからベースプレートを外した後、ダメージがないか検査してみてください。ゆがみが見つければ、再度取り付けする事が難しくなります。もしベアリングコンタクトサーフェイスがダメージを負っている場合、取り替えて下さい。
- ④新しいベースプレートや他の部品が必要ならば、お近くの代理店、またはクリスキング本店にて購入可能になっています。

保証

クリスキング・プレジジョン・コンポーネントは、ヘッドセット購入時の日から10年間、欠陥があった場合は、部品交換、そして修理を無料で行う事をお約束しています。クリスキングが素材や技術に欠陥があると認めた、いかなるクリスキングのプロダクトも、クリスキング・プレジジョン・コンポーネントの自由裁量で、工場へ送料が払われた状態に戻ってきた場合、修理もしくは交換されるようにしています。この保証は、使い方を間違ったがためのダメージ、乱用、改造、放置、通常で理にかなった消耗、事故、メンテナンスの失敗、製品の使われ方が意図しない方向で使用された時は、保証されません。もし欠陥が見つかった場合、私たちの全責任において、私たちのやり方において、無料の修理、又は交換を致します。クリスキング・プレジジョン・コンポーネントは、間接的で、とりわけ特別な、又は結果として起こるお客様のダメージにおいては責任を負いません。この保証は、製品にシリアルナンバーが変更されたり、取り除かれていた場合は、保証は致しません。この書かれた保証書は他の保証書の代わりとして存在し、ディーラーによって作られた保証書や表示は保証致しません。この保証書は法律の元で守られ、州によって様々な権利が存在致します。



ロックリング



スレッドコレット



アジャスティングリング



ベアリングカップ



ベースプレート

